

2019年 特別チベット仏教講座

ガルジェ・カムトウル・リンポチェによる

①テルトン・ソギャル（レラブ・リンパ）の発掘された ヴァジュラキラヤ（プルパ）の灌頂

9月15日（日）午前 10:00 ~ 12:30

テルトン・ソギャルはダライ・ラマ13世のゾクチェンの師で、13世の活動に障害のないよう、様々な教えを発掘されました。代表的なもののひとつが、このヴァジュラキラヤ（プルパ）の教えです。ラルン五明仏学院の創設者ケンポ・ジグメ・プンツォク師は、テルトン・ソギャルの転生者のおひとりとされています。



②グル・アマターユス（無量寿仏）の長寿灌頂

9月16日（月）午前 10:00 ~ 12:30



ニャラ・ペマドウンドウル(1816-1872)は聖者を輩出することで有名な東チベット・カム地方ニャロン出身の埋蔵経発掘者（テルトン）。なかでもグル・アマターユスの修行法はグル・リンポチェがネパールのマラティカ洞窟で無量寿仏から授かり不死を成就した修行法で、ニャラ・ペマドウンドウルはこの教え（Tsedrub Gongdü）を発掘、修行して虹の身体を成就したといわれる。

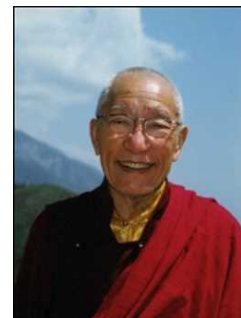


ニャラ・ペマドウンドウル

ガルジェ・カムトウル・リンポチェ略歴

現在チベット仏教世界では最高齢で世界を巡り、説法をされています。体調はあまりすぐれませんが、訪日をお願いすると、快諾され、今回で12年ぶりの来日となります。

リンポチェは1928年、チベット・カム地方に生誕（91歳）、幼少期からさまざまなヴィジョンを見られ、白ターラー菩薩に連れられ、シャンバラに行った話はとても有名です。ジャムヤン・ケンツェ・チューキロドゥや、アゾム・ギャルセー・リンポチェなど数多くの高僧から教えを授かり、顕密の教えに精通されています。亡命政府の宗教大臣としても活躍され、瞑想の中で自分の体を切り刻み、魔に布施するチュウの修行でも大変有名です。インド・ダラムサラにニンマ派寺院を建立され、寺では、一切智者ロンチェンパや、ニンマ派の埋蔵経発掘者でもあったダライ・ラマ5世の清らかなヴィジョン（タクナン）の教えを中心に、実践をおこなわれています。



午後の法話

9月15日(日) 14:30 ~ 17:00 ヴァジュラキラヤの灌頂の解説、及び瞑想

9月16日(月) 14:30 ~ 17:00 グル・アマターユスの解説、及び瞑想
(講師は随行されているケンポ・パーチェン師、もしくはトゥルク・アベ・リンポチェです。教えの内容も、リンポチェの指示により変更になることもありますので、ご了承下さい)

会 費 : 一日のみ 会員 8500円 一般 10800円
(9月5日まで振り込まれると1000円引きとなります。)
両日 会員 15000円 一般 18000円
(9月5日まで振り込まれると、1500円引きとなります。)

お申し込み方法 : メール、またはお電話でお申し込み下さい。
TCC 電話 03-5745-9889
TCC メール tcci@nifty.ne.jp
TCC 郵便振替口座 00190-8-77607
チベット文化研究会

会 場 : 良忠寺 記主会館 横浜市鶴見区矢向 4-21-36